アンケート調査概要（案）

【資料3】

１　調査目的

陸前高田市では、平成22年９月に策定した「陸前高田市立小中学校適正規模化実施計画」において、小学校は「複式学級の解消」、中学校は「１学年２学級以上の規模の維持」を基本方針としていました。

その後、平成23年３月に発生した東日本大震災の影響を踏まえ、同年11月に計画を見直し、小学校は「一町一小学校の維持」、中学校は「市内２校体制」を基本とする方針に変更しました。
以来、地域や保護者の皆様との意見交換を重ねながら、小中学校の統合を進めてきました。

しかし、近年の少子化により、今後は小学校における複式学級の増加や、中学校における一定規模の学級数の維持が難しくなることが見込まれています。

このような状況を踏まえ、市内小中学校のより良い教育環境の整備に向けた「小中学校の在り方」の検討を進めるため、市民及び保護者の皆様のご意見・ご意向を把握することを目的として本調査を実施します。

※市民アンケートと保護者アンケートの両方が届いた場合は、それぞれの立場からご回答ください。

２　調査方法等

	市民アンケート	保護者アンケート
調査対象	住民基本台帳から18歳以上の市民を無作為抽出	未就学児及び小学校・中学校に在籍する子どもの保護者（１世帯につき、１回答）
調査時期	令和８年８月	
調査方法	配布：郵送 回収：郵送、持参、WEB	配布：郵送 回収：WEB
調査内容	・回答者の属性 ・地域における学校の役割 ・学校の現状 ・今後の学校の在り方	
調査対象数	２，０００人	約７８０世帯

※調査対象数は調査時点の状況に応じて変更となる場合があります。

調査項目

1　回答者の属性

Q1 あなたの年代を教えてください。（1つ選択）
□10代　□20代　□30代　□40代　□50代　□60代　□70代以上

Q2 お住まいの地域を教えてください。（1つ選択）
□矢作町　□横田町　□竹駒町　□気仙町　□高田町　□米崎町　□小友町　□広田町

Q3 中学生以下のお子さまがいる方のみお答えください。お子さまの年齢区分を教えてください。（複数選択可）
□未就学児　□小学生　□中学生

2　地域における学校の役割や影響について

Q4 仮に地域から小学校がなくなった場合、地域への影響は大きいと思いますか。（1つ選択）
□非常に大きい　□ある程度大きい　□あまり大きくない　□全く大きくない　□わからない

Q5　Q4で回答した理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。（複数選択可）
□子どもの教育環境に影響があるため　□地域コミュニティの維持に影響があるため
□地域の活力低下につながるため　□防災拠点として重要であるため
□学校行事や地域住民の交流の機会として重要であるため
□子どもたちに地域への愛着や誇りを育む上で重要であるため
□特に影響はないと思う　□その他（　　）

3　学校の現状について

Q6 現在の小学校について、課題と感じるものを選んでください。（複数選択可）
□児童数の減少　□複式学級の発生　□友人関係が固定化しやすい
□教員配置への不安　□通学距離・安全　□施設の老朽化
□学校の立地における防災上の課題　□特にない　□その他（　　）

Q7 現在の中学校について、課題と感じるものを選んでください。（複数選択可）

□生徒数の減少　□学級数の減少　□友人関係が固定化しやすい

□部活動や集団活動の選択肢が少ない　□教員配置への不安

□通学距離・安全　□施設の老朽化　□特にない

□その他（　　）

4　今後の学校の在り方について

Q8 小学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。（1つ選択）

□小規模であっても１町１校を維持すべき　□町や地域の実情に応じて判断すべき

□一定規模の教育環境を確保するため、再編・統合を検討すべき　□わからない

Q9 中学校について、今後どのような方向性が望ましいと思いますか。（1つ選択）

□当面、現在の規模・配置を維持すべき

□一定規模の教育環境を確保するため、再編・統合を検討すべき　□わからない

Q10 今後の小中学校の在り方を検討する際に重要だと思う事項を選んでください。（最大3つまで）

□通学距離・安全　□スクールバス等の通学手段　□教育の質の向上

□学級規模の確保　□多様な人間関係の形成　□教員配置の充実

□部活動・学校行事の充実　□地域とのつながり　□施設の老朽化対策

□学校施設の維持管理・更新　□その他（　　）

5　自由記載

Q11　小中学校の在り方について、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。